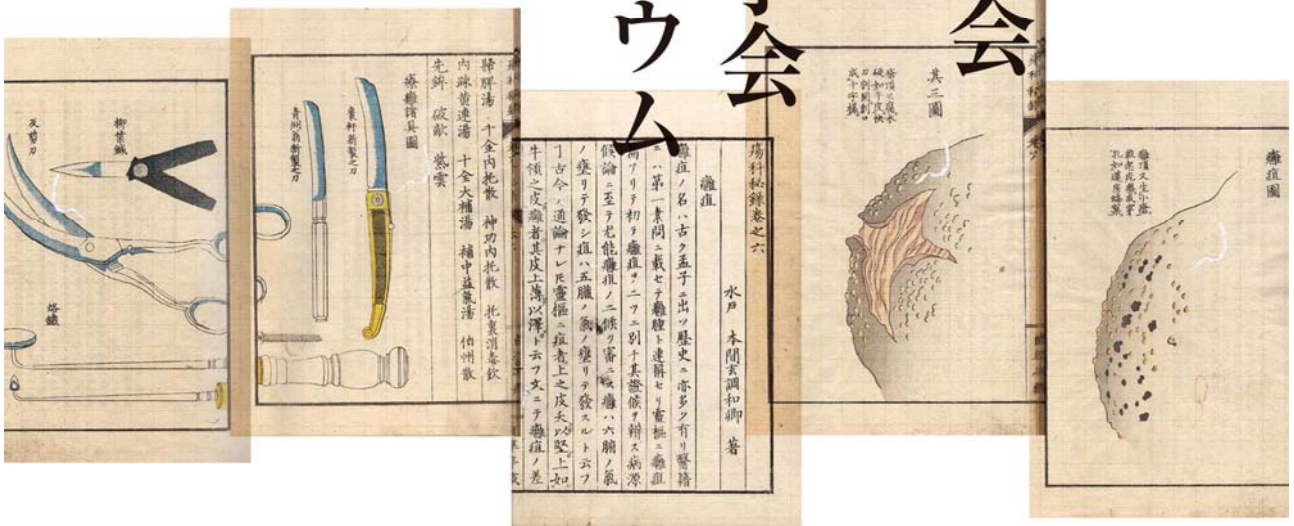


# 第百十一回 日本医史学会 総会・学術大会 および第二回 日中韓医史学会 合同シンポジウム プログラム



会 期 平成22(2010)年6月11日(金)～同13日(日)  
 会 場 茨城大学水戸キャンパス(水戸市文京2-1-1)  
 参加費 8000円(シンポジウム参加費・論文集込み、学生4000円)

**第111回日本医史学会総会・学術大会** 6月12日(土)～同13日(日)

協 賛 韓国医史学会 中華医学会医史学分会

後援賛助 茨城大学 (社)茨城県医師会・同歯科医師会・同薬剤師会・同鍼灸師会

**第2回日中韓医史学会合同シンポジウム** 6月11日(金)

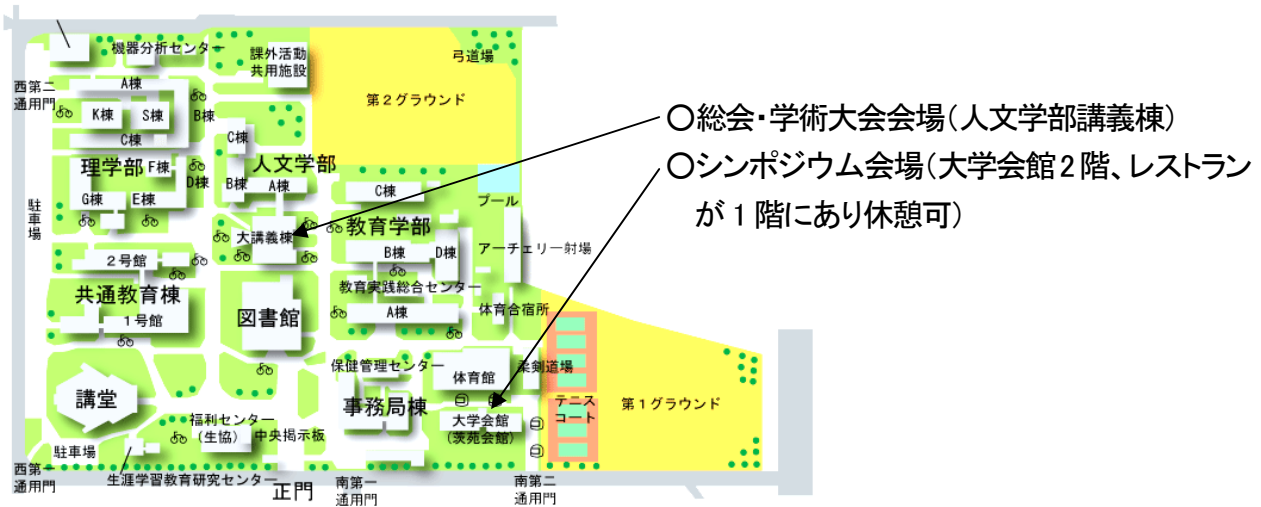
主 催 日本医史学会第111回学術大会実行委員会

共 催 茨城大学 中華医学会医史学分会 韓国医史学会

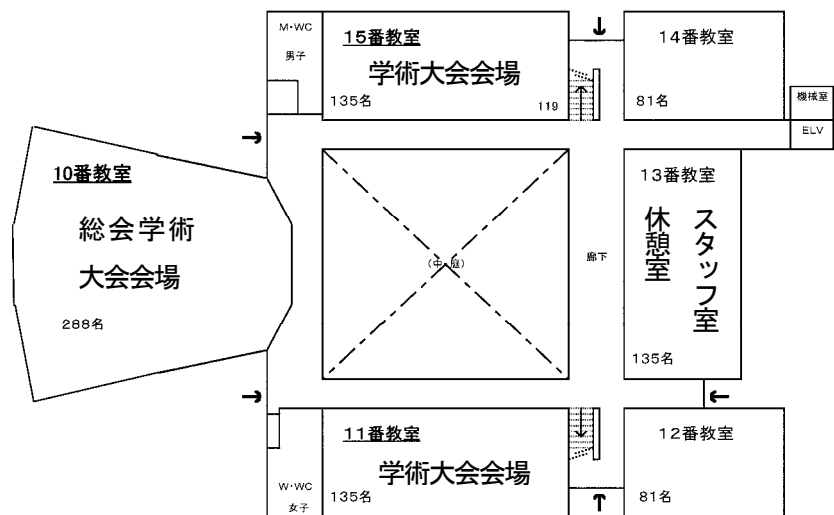
助 成 (財)日中医学協会 (財)福武学術文化振興財団 (財)国際文化交流事業財団

後 援 (社)日本東洋医学会

## 茨城大学水戸キャンパス図



## 会場図(人文学部講義棟1階)



## 日程・会場・座長一覧

第2回日中韓医史学会合同シンポジウム			
6月11日(金) 茨城大学 大学会館(茨苑会館)2階集会室 *1階にレストランあり休憩可			
9:10~	受付		
9:40~9:55	3学会代表紹介と趣旨説明	真柳 誠	
10:00~11:40	第1セッション 韓国医史学	座長 MAENG Woong-Jae	
11:40~13:00	昼食・休憩 (1階レストランほか)		
13:00~14:40	第2セッション 日本医史学	座長 Andrew Edmund GOBLE	
15:00~16:40	第3セッション ベトナム医史学と総括	座長 黄 龍祥	
16:50~18:20	理事評議員会		
18:25~18:55	バス移動		
19:00~21:00	合同シンポジウム懇親会(兼役員懇親会)	ホテル・テラス・ザ・ガーデン水戸	

日程・会場・演題番号・座長一覧

第111回日本医史学会総会 学術大会 第1日

6月12日(土) 茨城大学人文学部 講義棟1階

9:00～受付	午前10番教室のみ			
9:30～10:00	開会の辞	実行委員長	挨拶	会長・名誉会長・韓国中国学会代表
10:00～10:40	会長講演	座長	酒井 シヅ	
10:45～11:25	特別講演	座長	瀧澤 利行	
11:30～12:30	通常総会			
12:30～12:45	記念撮影			
12:45～14:00	昼食・休憩 (学内レストランほか)		3学会代表会議 (2階23演習室)	
一般口演	10番教室	11番教室	15番教室	2階23演習室
14:00～15:00	1～4席座長 杉山 章子	17～20席座長 原 敬二郎	33～36席座長 川島 真人	委員会
15:00～16:00	5～8席座長 平尾 真智子	21～24席座長 西巻 明彦	37～40席座長 昼田 源四郎	委員会
16:00～17:00	9～12席座長 岡田 靖雄	25～28席座長 猪飼 祥夫	41～44席座長 蔵方 宏昌	委員会
17:00～18:00	13～16席座長 鈴木 晃仁	29～32席座長 吉田 忠	45～48席座長 澤井 直	委員会
18:10～18:50	バス移動			
19:00～21:00	第111回日本医史学会学術大会懇親会		水戸プラザホテル	

第111回日本医史学会総会 学術大会 第2日

6月13日(日) 茨城大学人文学部 講義棟1階

9:00～受付				
一般口演	10番教室	11番教室	15番教室	2階23演習室
9:30～10:30	49～52席座長 浦山 きか	65～68席座長 長野 仁	81～84席座長 松木 明知	委員会
10:30～11:30	53～56席座長 安井 廣迪	69～72席座長 戸出 一郎	85～88席座長 ヴォルフガング ミヒェル	委員会
11:30～12:30	57～60席座長 小曾戸 洋	73～76席座長 天野 陽介	89～92席座長 坂井 建雄	委員会
12:30～13:30	昼食・休憩 (茨苑会館1階レストランほか)			
13:30～14:30	61～64席座長 宮川 浩也	77～80席座長 町 泉寿郎	93～96席座長 田中 祐尾	
14:35～14:50	10番教室	次期会長挨拶	閉会の辞	

会期後の史跡・歴史施設めぐり温泉1泊の旅 (13日15:00会場出発～14日14:00頃水戸駅解散)

水戸コンベンションビューローより案内

6月11日(金) 茨城大学 大学会館(茨苑会館)2階集会室

第2回日中韓医史学会合同シンポジウム  
「越境する伝統、飛翔する文化—漢字文化圏の医史」

9:00～受付

9:40～9:55 3学会代表紹介と趣旨説明 真柳 誠 (MAYANAGI Makoto)  
日本医史学会理事 茨城大学人文学部教授

第1セッション 韓国医史学 座長 MAENG Woong-Jae (孟 雄在)  
韓国医史学会会長 圓光大学校韓医科大学教授

10:00～10:40 韓国韓医学の展開—学術流派の形成と発展 KIM Namil (金 南一)  
韓国医史学会副会長 慶熙大学校韓医科大学医史学教室教授

10:40～11:20 韓国医学形成の軌跡と『東医宝鑑』 AHN Sang-Woo (安 相佑)  
韓国韓医学研究院伝統医学研究本部長 東医宝鑑記念事業団長

11:20～11:40 韓国報告への所感 梁 永宣 (LIANG Yongxuan)  
中華医学会医史学分会副秘書長 北京中医薬大学医史文献学教授

11:40～13:00 昼食・休憩(会場1階レストランほか)

第2セッション 日本医史学 座長 Andrew Edmund GOBLE オレゴン大学歴史学部教授

13:00～13:40 日本漢方医学形成の軌跡 小曾戸 洋 (KOSOTO Hiroshi)  
日本医史学会常任理事 北里大学東医研医史学研究部部長

13:40～14:20 『啓迪集』と日本医学の自立 遠藤 次郎 (ENDO Jiro)  
日本医史学会評議員 東京理科大学薬学部前教授

14:20～14:40 日本漢方医学における「全豹の述」と「一斑の究」 廖 育群 (LIAO Yuqun)  
中国科学技術史学会理事長 中国科学院自然科学史研究所教授・前所長

14:40～15:00 コーヒーブレイク(会場1階レストラン)

第3セッション ベトナム医史学と総括 座長 黄 龍祥 (HUANG Longxiang)  
中国中医科学院針灸研究所教授・副所長

15:00～15:40 阮朝時代のベトナム東医学 NGUYEN THI Duong (阮氏 楊)  
ベトナム社会科学院漢喃研究所講師  
[ベトナム医学形成の軌跡 真柳 誠 (MAYANAGI Makoto)]

15:40～16:00 韓国とベトナムの共通点 KANG Yeon-Seok (姜 延錫)  
圓光大学校韓医科大学教授

16:00～16:40 中日韓越伝統医学の相互交流と促進 鄭 金生 (ZHENG Jinsheng)  
中医科学院中医薬情報研究所教授 同院医史文献研究所元所長

- 16:40～18:25 学会役員以外の懇親会参加者は会場1階レストランで休憩および学内参観
- 16:50～18:20 日本医史学会理事評議員会 茨城大学・大学会館（茨苑会館）2階集会室
- 18:25～18:55 バスにて懇親会場へ移動
- 19:00～21:00 合同シンポジウム懇親会（兼役員懇親会） ホテル・テラス・ザ・ガーデン水戸



6月12日(土) 茨城大学人文学部 講義棟1階

第111回日本医史学会総会 学術大会 第1日

9:00～受付

10番教室

9:30～10:00 開会の辞 実行委員長 瀧澤 利行  
挨拶 第111回日本医史学会総会会長 真柳 誠  
名誉会長 茨城大学学長 池田 幸雄  
韓国医史学会会長 MAENG Woong-Jae (孟 雄在)  
中華医学会医史学分会後任主任委員 張 志斌 (ZHANG Zhibin)

10:00～10:40 会長講演 座長 酒井 シヅ  
日韓越の医学と中国医書 真柳 誠

10:45～11:25 特別講演 座長 瀧澤 利行  
水戸藩の医学と医療 鈴木 暎一

11:30～12:30 通常総会

12:30～12:45 記念撮影

12:45～14:00 昼食・休憩(学内レストランほか) 3学会代表会議(講義棟2階・23演習室)

一般口演 14:00～15:00

○は演者

10番教室 座長 杉山章子

- 第1 日露戦争期の広島予備病院における活動—日赤救護班の看護活動を中心として—  
.....○岡本裕子・坂村八恵・隅田 寛・千田武志
- 第2 明治期の医師：近藤常次郎による看護管理体制の示唆.....上坂良子
- 第3 日本赤十字社における支部選出看護婦—京都支部選出看護婦高木ハルの事例をもとに—  
.....○川原由佳里・鷹野朋美・山崎裕二・殿城友紀・高橋朋子・川嶋みどり
- 第4 明治24年濃尾地震における東京慈恵医院の救護・看護活動  
.....○平尾真智子・芳賀佐和子・蝦名總子

11番教室 座長 原敬二郎

- 第17 王室記録に見られる『東医宝鑑』関連記載の分析—正祖時代までの記録を中心として—  
.....○姜 棹現・車 雄碩・金 南一
- 第18 本草効能用語に関する研究.....呉 龍澤・李 丙旭・○金 恩瑕

- 第19 『東医宝鑑』湯液篇の本草分類に対する研究……………○呉 在根・金 容辰  
 第20 『郷薬集成方』から『東医宝鑑』にみられる朝鮮半島医学の変遷—本草を中心として—  
 ……………朴 智世

**15 番教室 座長 川嶋真人**

- 第33 常陸の郷医・山田甫庵の事蹟—『百腹図説』の成立と伝播に関する考察—……………長野 仁  
 第34 清代医案における外感病と内傷病の舌象特徴の研究  
 ……………○梁 嶸・王 盛花・李 燕・王 召平・侯 楊方・官 君達・李 方玲  
 第35 日本における舌診思想の一考察(その1)……………西巻明彦  
 第36 20世紀初期韓医学の診療録に見る傷寒診療例の考察……………車 雄碩

**一般口演 15:00~16:00**

○は演者

**10 番教室 座長 平尾真智子**

- 第5 日本陸軍における看護卒と磨工卒の関係……………鈴木紀子  
 第6 満蒙開拓青少年義勇軍訓練生に対する医療と看護……………額賀せつ子  
 第7 プランゲ文庫所蔵新聞記事にみられるGHQ看護課長オルトの記者会見の分析……………大石杉乃  
 第8 戦後沖縄の保健医療行政(その4)—保健所の活動—……………杉山章子

**11 番教室 座長 西巻明彦**

- 第21 『大同類聚方(寮本・延喜本)』に見える古代朝鮮の国名と関係のある薬方……………後藤志朗  
 第22 「燕行使」「通信使」と明末清初における東アジア医学知識の連動……………陳 明  
 第23 近代中国における西洋解剖学の初期的伝播について……………○松本秀士・坂井建雄  
 第24 宋大仁が三木栄にあてた1通の手紙で得た励まし……………郭 秀梅

**15 番教室 座長 昼田源四郎**

- 第37 江戸期在村医の製売薬—岡山県邑久郡中島家の関連文書の分析から—……………梶谷真司  
 第38 安藤昌益学派の『真斎謾筆』にみる乱神病……………岡田靖雄  
 第39 奄美諸島の私宅監置と医介輔問題……………○金川英雄・堀みゆき  
 第40 小林靖彦の資料研究—ミクロの視点から見た日本の精神医療の歴史—……………小林ひとみ

**一般口演 16:00~17:00**

○は演者

**10 番教室 座長 岡田靖雄**

- 第9 韓国ジャーナルに載せられた補完代替医学関連研究の動向分析……………○李 太亨・金 南一  
 第10 近年の政治及び経済政策が我が国の医療に与えた影響……………○藤岡 彰・藤岡和美  
 第11 心臓移植は医療として正しいか……………藤倉一郎  
 第12 医学研究における被験者保護の流れ……………○関根 透・島田道子

11 番教室 座長 猪飼祥夫

- 第 25 『脾胃論』に記載された述語の分類に関する研究……………金 明姫・金 恩瑛・○李 丙旭  
第 26 李東垣の陰火論に対する研究 ……………方 正均  
第 27 王清任の補気観—李東垣との比較から— ……………越智秀一  
第 28 江戸時代の考証学と折衷派に対する考察 ……………殷 哲玖

15 番教室 座長 蔵方宏昌

- 第 41 日本の近代外科黎明期における胃癌手術 ……………佐藤 裕  
第 42 県立福岡病院外科部における 3 年間(明治 23 年～25 年)の手術について……………小林 晶  
第 43 “養育院” 成立における第 5 代東京府知事・大久保一翁の役割……………稲松孝思  
第 44 近代日本の「防疫の制度化」においてコレラ流行は「決定実験」となりえたか?…大山卓昭

一般口演 17:00～18:00

○は演者

10 番教室 座長 鈴木晃仁

- 第 13 超過死亡にみる戦前期日本(旧植民地を含む)における“スペインかぜ”世界流行の影響  
……………○逢見憲一・丸井英二  
第 14 日本の結核史における第二次世界大戦と BCG 研究について……………渡部幹夫  
第 15 戦後占領期における性感染症—GHQ/SCAP 文書にみる梅毒の流行—  
……………○田中誠二・杉田聡・安藤敬子・丸井英二  
第 16 江戸時代の医学書にみる結核観の変遷 ……………鈴木則子

11 番教室 座長 吉田 忠

- 第 29 ベトナム近現代史における「伝統医学」……………小田なら  
第 30 釈迦時代における出家僧の健康管理について ……………杉田暉道  
第 31 治癒神としてのカナヤマサマー—八丈島での事例から ……………土屋 久  
第 32 中山城山の『黄庭内景経略註』について……………坂出祥伸

15 番教室 座長 澤井 直

- 第 45 中島友玄の閑谷并医学館入学諸事留—明治初年の医家継承事情— ……………中島洋一  
第 46 浅田宗伯門人、藤田謙造の学統……………○渡辺浩二・小曾戸洋・花輪壽彦  
第 47 「医業」とは別のいとなみで—橋田邦彦の「医行」論……………勝井恵子  
第 48 ハンセン病医学者・菅井竹吉の履歴、特に東京市養育院時代の事績について……………平井雄一郎

18:10～18:50 バスにて懇親会場へ移動

19:00～21:00 第 111 回日本医史学会学術大会懇親会(水戸プラザホテル)



6月13日(日) 茨城大学人文学部 講義棟1階

第111回日本医史学会総会 学術大会 第2日

9:00~受付

一般口演 9:30~10:30

○は演者

10番教室 座長 浦山きか

- 第49 中国伝統医学と道教(第30回)「医道」と「医家」……………吉元昭治  
第50 茶と『神農本草経』について……………岩間眞知子  
第51 五味説新考……………猪飼祥夫  
第52 傷寒論における「堅」と「鞭」と「革+卯」  
……………○松岡尚則・栗林秀樹・別府正志・山口秀敏・中田英之・岩井祐泉・牧角和宏

11番教室 座長 長野 仁

- 第65 『僧深方』—『医心方』『外台秘要方』からの輯佚……………多田伊織  
第66 医心方に記載されている九虫に関する考究……………牧 純  
第67 『殿暦』の鍼灸……………寺川華奈  
第68 『文正草子』の中の身体に関わる表現……………計良吉則

15番教室 座長 松木明知

- 第81 解剖学の脱動物化—ガレノス解剖学の伝承と解剖学の変化—……………澤井 直  
第82 クイーン・スクエア・ホスピタルの創設と発展……………柳澤波香  
第83 『百科全書医学篇』(明治7年文部省刊)とChambersの原本(1857年)について  
……………樋口輝雄  
第84 眼科顕微鏡開発史……………園田真也

一般口演 10:30~11:30

○は演者

10番教室 座長 安井廣迪

- 第53 毒—中日の医家で解釈が異なる病因術語……………朱 建平  
第54 龔廷賢方の清代医学文献における引用—日中医学の相違—  
……………○星野卓之・天野陽介・小曾戸洋・花輪壽彦  
第55 耳聾について……………吉岡広記  
第56 肝臓にたいする認識の変遷:江戸から明治期にかけて……………大道寺慶子

11 番教室 座長 戸出一郎

- 第 69 『鍼灸要法』について……………宮川隆弘  
第 70 『一原三岐』について……………鶴田泰平  
第 71 「鍼灸施治姓名録」について—幕末の岡山県邑久郡周辺における鍼灸記録—  
……………○松村紀明・中島洋一  
第 72 京都府立盲学校資料室所蔵の「杉山真伝流」関連写本類について……………○大浦宏勝・市川友理

15 番教室 座長 ヴォルフガング・ミヒェル

- 第 85 緒方洪庵と種痘—その人脈を探る— ……………古西義麿  
第 86 郡上藩醫學校と種痘・施療事業……………森永正文  
第 87 ポンペ・ファン・メールデルフォールトの日本における西洋医学教育についての報告  
……………○相川忠臣・ハルメン ボイケルス・酒井シヅ・山之内卯一  
第 88 ポンペ・ファン・メールデルフォールトと牛痘種痘 (第 1 報) ……………松木明知

一般口演 11:30~12:30

○は演者

10 番教室 座長 小曾戸洋

- 第 57 綴合する 4 組の敦煌医薬卷子断簡について ……………沈 澍農  
第 58 「千金方」の名称をめぐって……………○矢数芳英・小曾戸洋  
第 59 『難経集注』について……………○宮川浩也・天野陽介・小曾戸洋・花輪壽彦  
第 60 柳宗元疾病攷 ……………小高修司

11 番教室 座長 天野陽介

- 第 73 『家伝預葉集』の研究……………○鈴木達彦・砥上京子・森田まゆ  
第 74 青山道醇の『鍼灸備要』について……………木場由衣登  
第 75 木内政章 (原南陽・小野蘭山門人) の事蹟と学績……………町泉寿郎  
第 76 田中彌性園収蔵小野蘭山書簡およびその学統について ……………田中祐尾

15 番教室 座長 坂井建雄

- 第 89 司馬凌海. 日本人執刀最初の病理解剖……………高橋 昭  
第 90 森林太郎 (森鷗外) と解剖学講義について……………島田和幸  
第 91 本木良意識「阿蘭陀経路筋脈臟腑図解」をめぐる考察…○成瀬勝俊・片山 昇・片山誠二郎  
第 92 金澤大学所蔵キンストレーキの解組と新たに確認されたオランダ語・日本語ラベル  
……………月澤美代子

12:30~13:30 昼食・休憩 (茨苑会館 1 階レストランほか)

一般口演 13:30~14:30

○は演者

10 番教室 座長 宮川浩也

- 第 61 損至について .....中川俊之  
第 62 『女科證治準繩』における鍼灸条文の典拠について.....田中利江子  
第 63 『外科理例』の鍼灸.....上田善信  
第 64 『素問』『靈樞』における三焦概念の変遷.....林 孝信

11 番教室 座長 町泉寿郎

- 第 77 『体雅』諸本 10 種の関係について.....浦山きか  
第 78 国立国会図書館所蔵の『体雅』について.....竹内 尚  
第 79 東博所蔵の江戸医学館旧蔵書に関する検討.....○天野陽介・小曾戸洋・町泉寿郎・星野卓之  
第 80 江戸医学館蔵書集散の顛末.....○小曾戸洋・天野陽介・町泉寿郎・星野卓之

15 番教室 座長 田中祐尾

- 第 93 医術開業後期試験問題と済生学舎の臨床技能教育...○志村俊郎・唐沢信安・殿崎正明・寺本明  
第 94 磯部檢三と加藤時次郎について.....○唐沢信安・志村俊郎・殿崎正明  
第 95 塩田広重学長と「磯部檢三日記」.....○殿崎正明・唐沢信安・志村俊郎  
第 96 医学校数推移の基礎資料としての文部省年報の統計について .....坂井建雄

14:35~14:50 10 番教室

次期会長挨拶 第 112 回総会会長 坂井 建雄  
閉会の辞 日本医史学会理事長 酒井 シヅ

誌上発表

- 第 97 宋代の漢籍に見える『内経』経文 .....橋本典子  
第 98 『鍼法秘粹』について .....岩田源太郎  
第 99 饗庭東庵『首書十四経』の鼈頭について .....山崎陽子  
第 100 近年の北海道に於ける明治女医史研究と新知見.....宮下舜一

## 連絡事項

### ◎演者の方へ

- 1 一般口演の発表時間は10分、質疑応答は2分です。時間を厳守願います。
- 2 発表開始後9分で初鈴、10分で第2鈴を鳴らします。発表を終了し、討論に移ってください。
- 3 演者は発表の開始・終了など、座長の指示に従ってください。
- 4 演者は自演題の2題前には発表会場に入り、次演者は次演者席で待機してください。
- 5 パワーポイントの操作は係の者が行います。次のパターンに移る際に合図を出してください。
- 6 当日配付資料がある場合は100部程度ご用意願います。配布後の残部は会場入口に口演順に配置します。口演終了後の残部は各自の責任で回収してください。なお、当日配付資料の現地事務局での印刷・増刷には応じかねますのでご了承ください。

### ◎質疑応答

- 1 時間が限られておりますので、口演時間内では簡潔な質疑応答をお願いします。詳細な議論は口演会場外の休憩室等をお願いいたします。
- 2 演者とお話をする機会が得られなかった場合は後日、直接交信するようお願いいたします。学会事務局での文書や伝言の送達は、受付かねますのでご了承ください。

### ◎座長の方へ

- 1 今次学会は発表演題数が多数に上っており、通常より時間を延長してプログラムを組んでおります。時間の余裕はまったくないうえ、延長は他のセッションや懇親会等の行事の進行に影響を及ぼしますので、時間厳守にて運営願います。
- 2 次座長は、次座長席にてご自身の運営するセッションの前に必ず待機願います。

### ◎映像機器の使用について

- 1 今次学会はすべて、パソコンでのパワーポイントプレゼンテーションのみにて映像呈示を行っていただきます。スライドやOHPは使用できません。
- 2 パワーポイントのデータはCD-ROMに複製されたうえ、5月25日(火)までに大会事務局に簡易書留など、配送を証明できる手段で郵送または配送願います。送信ミスや機器トラブルによる行き違いや未受信を避けるため、電子メールでのデータの送信は受付ません。

### ◎参加費用等

- 1 学会・シンポジウム参加費 8000円(学生4000円)
- 2 懇親会費

- 1) 合同シンポジウム懇親会(兼役員懇親会) 7000円(学生4000円)

6月11日(金)午後7時より ホテル・テラス・ザ・ガーデン水戸

今次の役員懇親会は国際シンポジウム懇親会と合同で行います。合同シンポジウム参加の一般会員や学生会員の方も奮ってご参加ください。

- 2) 第111回日本医史学会学術大会懇親会 7000円(学生4000円)

6月12日(土)午後7時より 水戸プラザホテル

両懇親会とも、会場までホテル専用バスにてお迎えに上がります。当日、バス発着場所と時間を学会受付に掲示しますので、くれぐれもお乗り遅れないようにお願いいたします。

3 記念写真代 1000円

6月12日の総会(11:30~12:30)終了後に記念写真を撮影いたします。お申し込みの方は当日の懇親会受付にて写真をお渡しできますので、この際に受領願います。

いずれの費用も、同封の郵便振替払込用紙の該当項目に○印をつけ、合計金額を5月20日(木)までに払い込みをお願いいたします。なお、懇親会の出欠確認、諸手配の都合上、同封のはがきにて事前の参加登録をお願いいたします。

## ◎宿泊

- 1 宿泊は別添の案内と地図をご参照のうえ、早めに各自ご予約ください。
- 2 一部のホテルは学会特別割引が適用されますので、注意事項をご覧のうえお間違いのないようにお申し込み願います。なお、1週間前からはホテル所定のキャンセル料が発生いたしますのでご注意ください。

## ◎理事・評議員の方へ

- 1 理事・評議員会を6月11日(金)16:50より、茨苑会館(茨城大学会館)にて開催します。
- 2 今次の役員懇親会は合同シンポジウム懇親会と兼ねて開催されます。上記の懇親会の項をご参照ください。

## ◎エクスカージョン

会期後の史跡巡りを兼ねた歴史施設等の魅力的な「温泉1泊2日3食の旅」(13日15時・会場出発~14日13時頃・水戸駅解散)を、水戸のイベントをサポートする水戸コンベンションビューローと茨城交通が企画しました。別添の案内をご参照のうえ、5月20日までに各自お申し込みください。ゆっくり温泉につかり、医史学を語りあいましょう。なお定員に満たないときは中止もありますが、この場合は当費用の全額を返却いたします。

## 第111回日本医史学会にご参加の方々へ

長い日本医史学会の歴史において、はじめて水戸市において第111回学会が開催されることは、水戸にゆかりある一同、心より喜んでおります。水戸での学会参加を快適に過ごしていただくために、交通事情等を中心に、医史学会版「水戸学」をお伝えいたします。

### 1. 水戸までの道のり

#### 1) 飛行機をご利用の場合

羽田空港第2ターミナル・第1ターミナルから水戸駅南口駅行きリムジンバスが発着しています。料金は大人3500円、所用時間は約120分から160分です。ただし首都高速道路の渋滞時には相当に遅れますので、帰りの飛行機便には時間の余裕をみないと危険です。発着時間は以下の通りです。

(2008/12/16 改正、時間は 24 時表示)

- ・羽田空港第 2 ターミナル発 (第 1 ターミナル発は 5 分加えてください) JR 水戸駅南口行

14:00 15:20 16:50 18:25 20:25

- ・JR 水戸駅南口発羽田空港行

03:50 04:35 05:35 06:40 09:25

なお、神戸空港からは話題の茨城空港まで一日 1 便が就航していますが、空港から水戸市内はきわめて不便ですので、現段階ではおすすめしません。

## 2) 電車をご利用の場合

### (1) 東海道新幹線利用

JR 東京駅から山手線・京浜東北線で上野方面に乗車の上、JR 上野駅で乗り換え、常磐線特急「スーパーひたち」又は「フレッシュひたち」にて JR 水戸駅まで乗車。

スーパーひたちは、ほとんどが水戸まで途中停車がありませんので約 1 時間、フレッシュひたちは途中、柏・土浦・石岡・友部に停車しますので 1 時間 15 分かかります。各駅停車は約 2 時間かかります。

発着時刻は、おおむね上野発は 00 分がスーパーひたち、30 分がフレッシュひたちです。

水戸発上野行きは 27 分発がスーパーひたち、52 分発がフレッシュひたちです。

なお、東京駅から水戸までの直通バスもあります。東京駅八重洲口高速バス 3 番のりばから県庁ルート、赤塚ルート、茨大ルートの 3 系統が 3 社 (茨城交通、JR バス、関東鉄道) によって運行されています。どの社のどのルートに乗っても、東京駅から水戸駅までの時間 (約 1 時間 45 分) は変わりません。すべてのバスが水戸駅まで行きますし、だいたい 20 分に 1 本程度運行しています。茨大ルートのみ、茨城大学前で停車します。

### (2) 東北・上越・山形・秋田新幹線利用

JR 上野駅で乗り換えて、あとは常磐線特急を利用することは東京駅からくる場合と同様です。

また、仙台からは常磐線特急スーパーひたち上野行きで水戸に停車します。1 日 3 本ほど出ています。

### 3) 自家用車ご利用の場合

水戸市内の交通事情は複雑なので、あまりおすすめはしません。が、「どうしても車でいきたい」と考えられる方は、常磐自動車道水戸インターを降り、国道 50 号を水戸・大洗方面に走行して約 4 キロで新原三叉路という三叉路まできたら左折します。ほぼ 2 キロで国道 123 号に交差しますので、そこを左折して 200 メートル走行すると茨城大学入口の交差点になります。そこを右折していただくと大学正門になります。

北海道方面からは苫小牧まで出てフ



フェリーで大洗港まで来て、大洗鹿島線で水戸駅に出るという手段もあります。しかし労多くして功少ない手段であると思います。

なお車両はキャンパス内に指定のパスカードで入構するため、臨時入構カードの発行手続きが必要となります。詳しくは正門受付にお尋ねください。

## 2. 水戸駅から茨城大学まで

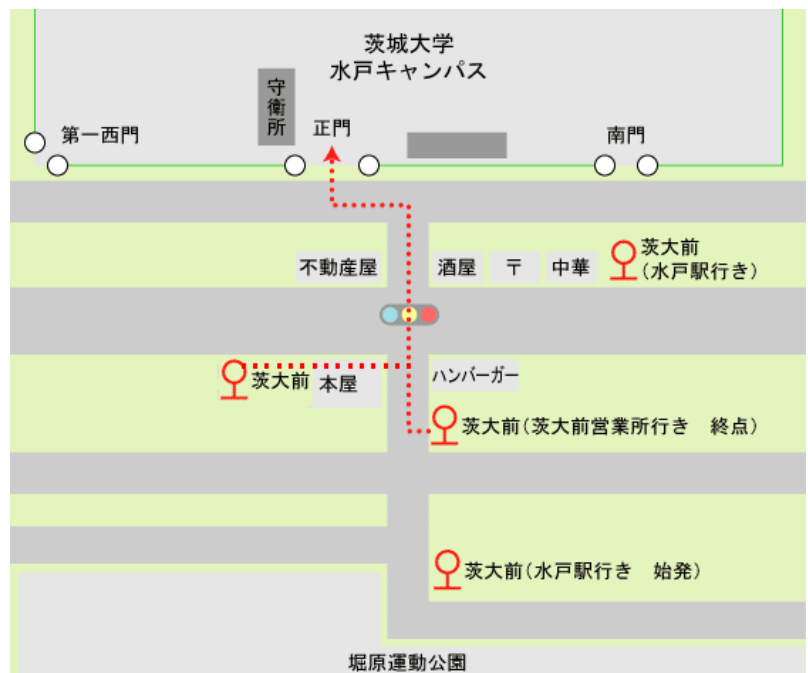
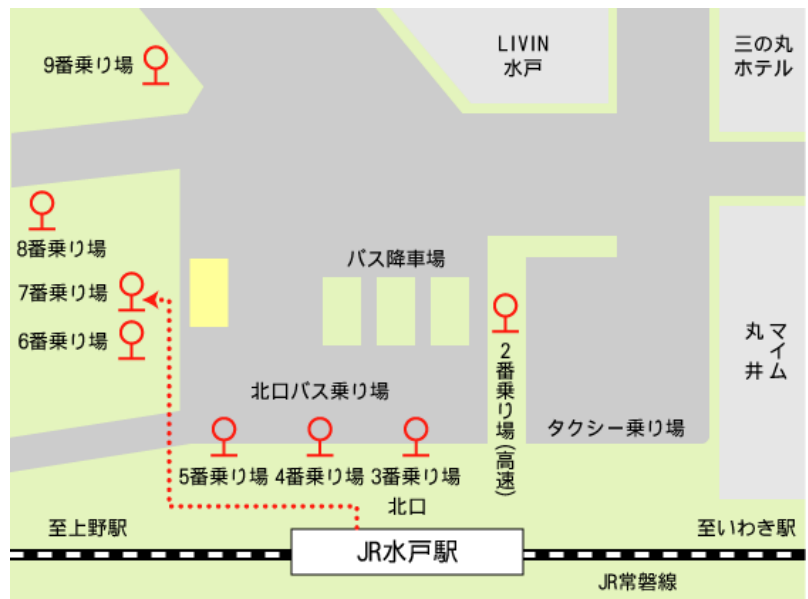
水戸駅から茨城大学までは約6キロですから、徒歩で1時間以上かかります。ここはバス利用になります。JR 水戸駅北口のバス乗り場7番から茨大前行きバスが頻繁に出ていますので、これに乗って「茨大前」か「茨大前営業所」で下車してください。駅から15～25分ほどです。停留所から3分ほど歩きますと大学正門になります。どちらの停留所からもすぐわかります。

バス乗り場5番から「新原・茨大」行というバスもかなり出ていますが、これは遠回り時間で5～10分ほど余計にかかります。7番乗り場で待っていると5番に「新原・茨大」行がくるので乗りたくなる誘惑に駆られますが、結果としては7番で待っていた方が早く大学に着けます。

ただし、7番乗り場からはたまに「瓜連・大宮」行きというバスが出ます。このバスは「袴塚2丁目」までは「茨大」行とまったく同じルートを通りますが、「袴塚2丁目」停留所を過ぎると右折し、どんどん大学から離れてしまう恐ろしいバスです。しかも気がついて降りても、次に戻るバスは1時間以上来ないことは普通です。まずはこの「瓜連・大宮」行には乗らないことがベストです。しかし万が一乗ってしまったら、「袴塚2丁目」を過ぎて右折したらすぐ次の停留所「文京町」で下車してください。大学の野球場の横ですから、5分ほどで正門に着きます。

## 3. 水戸で「流し」のタクシーに乗るのは至難です

不思議に思われるかもしれませんが、水戸は駅の周辺でもいわゆる「流し」のタクシーがありません。駅や盛り場など、要所要所にあるタクシーステーションでしか乗れません。については会場にタクシー会社の電話番号を掲示しておきますので、予約配車をしてください。





第111回日本医史学会総会・学術大会

第2回日中韓医史学会合同シンポジウム

名誉会長

茨城大学学長 池田 幸雄

総会会長

真柳 誠

実行委員長

瀧澤 利行

実行委員

高村 恵美 井澤 耕一 七木田 文彦 久保 輝幸 勝井 恵子 野口 大輔

事務局

第111回日本医史学会事務局

〒310-8512 水戸市文京 2-1-1 茨城大学教育学部 瀧澤利行研究室